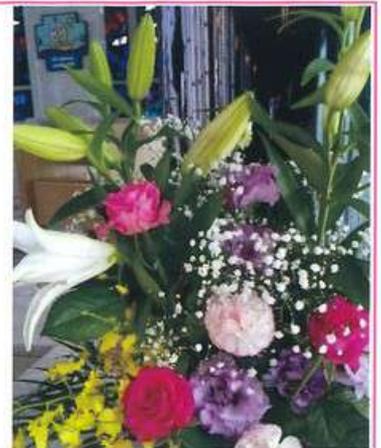
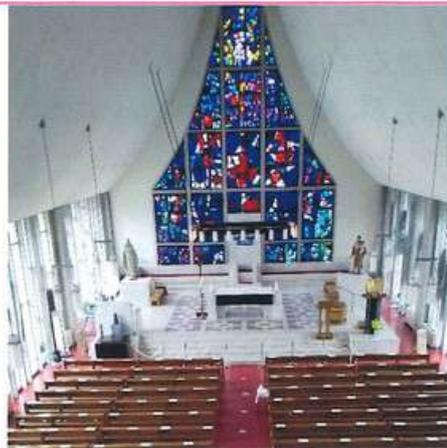


カトリック河原町教会だより

2022年9・10月

教皇フランシスコ 2022年8月31日一般謁見演説 識別についての連続講話 1. 識別の意味(抜粋)

親愛なる兄弟姉妹の皆さん 識別とはすべての人に関わる重要な行為です。というのも、決断は人生の本質的な部分だからです。何を選ぶのか識別するのです。食べ物、衣服、勉強する科目、仕事、関係などをわたしたちは選んでいます。これらの中で、人生の計画が実現され、神との関係さえ目に見えるかたちになっていくのです。識別を有効なものとするには、犠牲も必要になります。またすべてのひとが決断を下さなければなりません。わたしたちのために決断を下してくれる人はいません。「夫が決断を下したから、妻が決断したから、あるいは兄弟が決断したから失った」とは言えないのです。福音は、識別のもう一つの重要な側面を教えています。それは感情です。良い決断、正しい判断はいつもあなたを最終的には喜びへと導きます。最後の審判で、神はわたしたちについて、識別——重大な識別——を行われます。正しく、良い決断の中では、神の意志とわたしたちの意志との出会いがあります。同様に重要なその他の要素についても見ていきます。 識別は——先ほど言いましたが——努力に関わります。聖書には、わたしたちが生きる人生が、目の前に用意されていたり、出来合いの人生が用意されていたりするとは書いてありません。そうではありません。わたしたちはいつも、目の当たりにする現実に従って、人生を選択していかなければなりません。神は、よく考え、選択するようにとわたしたちを招かれます。神はわたしたちを自由な者として創られ、その自由を实践するよう望まれています。わたしたちはよく、次のような経験をします。自分にとって良いと思われることを選択したけれども、実際はそうでなかったり、または、自分にとって真に良いことは何かを知っていながらも、それを選択しなかったりします。そして、聖書はこれを一番初めのページから記しています。神は人に命じて言われました。「生きたいのなら、いのちを楽しみたいのなら、あなたは被造物であることを思い出しなさい。あなたが善と悪の基準ではなく、あなたが決断した選択には結果がついてくる、あなた自身にも、他者にも、世界にも」(創世記 2・16—17 参照)。何よりも、神の子どもとしての関係を求めます。生きることを学ぶために、人は愛することを学ばなければなりません。このために、選択肢に直面して、今わたしは何ができるかを識別することが必要です。識別がより大きな愛、より成熟した愛のしるしとなりますように。



すべてのいのちを守るための月間(9.1-10.4)

洛東ブロック担当司祭 瀧野 正三郎

キャンペーンの羅針盤である 回勅『ラウダート・シ』(LS)『兄弟の皆さん』(FT)とともにこの月間をすごしていきましょう。

*わたしたちを包み込んで支える世界を大切にすることは、わたしたち自身を大切にすることです。同じ家に住む「わたしたち」にならなければなりません。(FT17)

*世界はすべての人のために存在しています。人は皆、同じ尊厳をもって、この地球に生まれるからです。肌の色、宗教、能力、出生地、居住地、その他多くのことの違いを、重視したり、皆の権利を損なって一部の人の特権を正当化することに利用したりしてはなりません。それゆえ共同体としてわたしたちには、すべての人が尊厳をもって生き、十全な発達のための適切な機会が得られることを保障する責務があるので。(FT118)

*地球という、ともに暮らす家を大切にすることについて話すときには、普遍的良心、そして今なお人々の間に残る相互扶助を案じる思い、それらささやかなものに訴えています。もし自分には存分に水があっても人類をおもんばかってそれを大事にするというならば、それは、自分自身を、また自分が属する集団を、超え出て行ける倫理的レベルに到達しているからなのです。これは実に人間らしいことです。まさにこの姿勢が、一人ひとりの権利を認めるために—その人が国境の外で生まれた人だとしても—求められています。(FT117)

*独りで人生に立ち向かえる人はいません。わたしたちには、支えてくれる、助けてくれる、そして前を見るよう互いに助け合う共同体が必要なのです。独りでは、幻影を抱いてしまい、そこにはないものを見てしまう危険があります。夢は、ともに編むのです。(FT8)

*わたしたちは、後続する世代の人々に、今成長しつつある子どもたちに、どのような世界を残そうとするのでしょうか。どのような世界を後世に残したいかと自問するとき、わたしたちはまず、その世界がどちらに向かい、どのような意味を帯び、どんな価値があるものなのかを考えます。しかし、こうした問題と勇敢に向き合うならば、他の重大な問いを避けて通ることはできません。それは、この世界でわたしたちは何のために生きるのか、わたしたちはなぜここにいるのか、わたしたちの働きとあらゆる取り組みの目標はいかなるものか、わたしたちは地球から何を望まれているのか、といった問いです。ですから、もはや、将来世代のことを考慮すべきだと言明するだけでは足りません。わたしたち自身の尊厳こそが危機にさらされていると理解する必要があります。(LS160)

*社会平和は、骨の折れる手仕事です。重要なのは、出会いのプロセスを、違いを受け入れることのできる民を築くためのプロセスを生み出していくことです。子どもたちには、対話という武器を装備させましょう。出会いという優れた格闘を教えましょう。(FT217)

*近づくこと、伝えること、耳を傾けること、目を向けること、互いを知ること、互いに理解しようとする、接点を探すこと—このどれもが、動詞「対話する」に集約されます。会って、助け合うには、対話が必要です。(FT198)

*人間的で兄弟的な社会とは、必要最低限のものが保障されるだけでなく、多くの利潤を生まないとしても、時間がかかろうとも、効率とは程遠くとも、その人がベストの力を発揮できるよう、だれもが人生の旅路において寄り添いを得ることが、効率的かつ安定的に保障されるよう努める社会です。(FT110)

すべてのいのちを守るための月間 2022.9.1-10.4


www.catholicblock.jp/for-a-better-tomorrow/

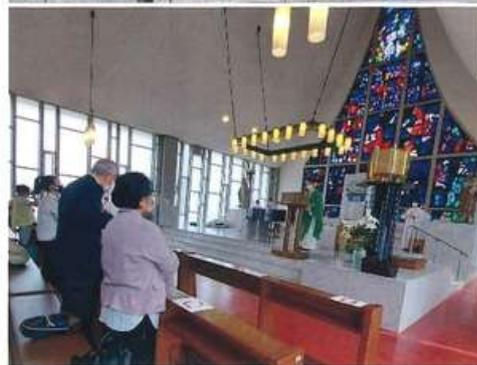
シスターロサ 霊名のお祝い 集会祭儀

8月28日 10:30 の集会祭儀の中でシスターロサの霊名のお祝いが和やかな雰囲気の中、行われました。

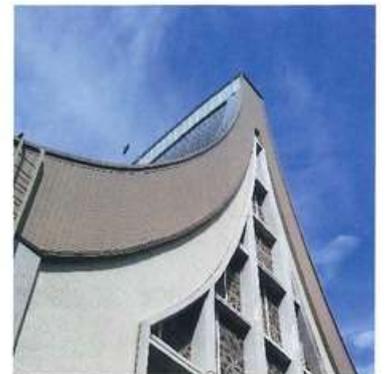


敬老感謝のミサ

9月18日 10:30 から敬老感謝のミサが瀧野神父様の司式により執り行われ祝福が与えられました。



河原町教会の風景



2022年10月～12月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
10	2	日	[年間第27主日]
	9	日	[年間第28主日]
	16	日	[年間第29主日]
	23	日	[年間第30主日] 世界宣教の日(献金)
	30	日	[年間第31主日]
11	1	火	諸聖人
	2	水	死者の日 諸死者追悼ミサ 18:30
	6	日	[年間第32主日]
	12	土	教区「いのち・平和・環境の日」の集い(オンライン)
	13	日	[年間第33主日] 貧しい人のための世界祈願日 七五三お祝い 10:30 ミサ 京都南部地区合同堅信式 14:00
	20	日	王であるキリスト(年間第34週) 世界青年の日 聖書週間(~27日)
27	日	[待降節第1主日](A年) 新しい「ミサの式次第」開始	
12	3	土	聖フランシスコ・ザビエル祝日 司教座聖堂献堂記念ミサ 10:30
	4	日	[待降節第2主日] 菅原神父霊名くアンノ 12/5のお祝い 10:30 ミサ中
	8	木	無原罪の聖マリア
	11	日	[待降節第3主日]
	18	日	[待降節第4主日]
	24	土	主の降誕(夜半)ミサ 18:30・21:00
	25	日	主の降誕(夜半)ミサ 7:00・10:30・13:00(英語) 瀧野神父霊名くステファノ 12/26のお祝い 7:00 ミサ
	30	金	聖家族

お知らせ (敬称略)

◆洗礼 おめでとうございます

2022. 8.14 ジョン 四方 健心

◆転出 どうぞお元気で

2022. 9.17 クララ 小寺 貴子

◆婚姻 おめでとうございます

2022. 9.24 村上 慎吾 マリア・テレジア 井上 朝菜



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30

最新の情報はウェブサイトでご確認下さい。

講座の時間(休講の日も有り)

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教の輪郭」

土曜日 16:00

(Sr.テッシーのチーム)

「キリスト教とは何か」

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

「カトリック教会の教え」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

要理通読会

「カトリック教会のカテキズム要約」の通読

木曜日 11:30(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.ロサ)

聖書を学ぶ会

土曜日 11:00(Sr.ロサ)

みんなの集い

土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方向け」
は事務室かrakuto.nyumon.class@gmail.com まで
事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2022.9・10 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>